

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	のびっこらんど愛愛 (児童発達支援)		公表日 令和7年 3月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		基準上適正です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			基準上はクリアしているが、より充実した支援を行うために、状況によっては多く配置できると、なお良いと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	活動の空間は構造化するなど配慮しています。玄関、室内も段差なく出入りでき、多目的トイレ等の設置もしています。	電話が一回線しかないので、電話の対応を検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎朝全室の清掃・消毒を実施しています。また、お子さんにとって過ごしやすい環境となるよう、活動内容によって空間を分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別の部屋では、個別支援の他に、お子さんから要望があった際にも使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	ISOの認証を受け、工程に沿って業務を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ホームページに公開の他、事業所内提示と保護者様への配布をしています。	これから職員に周知され、改善を検討する予定です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		今後も職員間で共有しながら、業務改善を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		第三者委員会が定期的開催され、業務の見直しや改善を行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法人内部の研修の他、地域で行われている研修にも参加しています。	職員の資質、意識向上のためにも、職員の要望も汲み取りながら、多くの職員が研修に参加できるように取り組んでいます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		面談や利用アンケート等を通して、保護者さんやお子さんにニーズを把握し、個別支援計画に反映させています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員全員で検討会議を実施し、お子さんのニーズに合っている内容なのかを検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		半期に一度定期的にモニタリングを行っており、目標の継続や変更に同意を頂いています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	事業所で使用しているアセスメント様式その他、各種検査結果等の情報も個別支援計画作成の参考にしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに記載されている内容を踏まえ、個々の目標に合わせた内容や活動のプログラムを設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		リーダーの立案を職員間で検討しています。また、個別支援では、職員の専門性を持ち寄った活動も立案し個々に合った活動を提供しています。	

ハ	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節に応じた活動を取り入れ、その都度、保護者さんやお子さんのご要望を参考に企画実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		保護者さんのご要望をふまえ、お子さんの状態に合わせた活動の提案、実施をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			統一した動きが取れるように、念入りに確認してチームとして連携が取れるように行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	毎日ではないが、行事等が行われた時は、全職員で振り返りを行い共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			引き続き日々の記録を徹底し、検証、改善に繋げられるよう話し合いの時間をなるべく多くしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	半期に一度定期的にモニタリングを行っており、目標の継続や変更に同意を頂いています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	児童発達支援管理者の他、必要に応じて担当職員も参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		各関係機関と連携して情報を共有しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		4		当事業所は現在、併行利用児のみ在籍している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		必要に応じて情報共有の場を設定し行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		現在積極的な企画・実施はしていません。今後ご要望を踏まえて検討します。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1		送迎サービス利用の児童や、祖父母が主に送迎を行う家庭は回数が少ないので、積極的に話し合える場面を設けていきます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		他事業所で行っているペアレントプログラムへの参加を促すなど、機会の提供を行っています。	事業所単独での開催は、現在は難しいがご家族への助言等は随時実施しています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		主に利用契約を結ぶ際にご説明し、不明な点などが残らないようにしていきます。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談や利用アンケート等を通して、保護者さんやお子さんにニーズを把握し、個別支援計画に反映させています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		保護者さんに丁寧に説明することを心掛け、同意をいただいています。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	2		送迎サービス利用の児童や、祖父母が主に送迎を行う家庭は回数が少ないので、積極的に話し合える場面を設けていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者交流会は継続して行っています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		登園や降園時の申し送りや連絡帳を活用し、お子さんの日々の成長や課題等を共有しています。また、面談や電話での相談も受け付けて、随時対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	法人の広報誌が定期的に発行されており、ホームページでは、日々の活動の様子を新着情報として随時更新しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		主に利用契約時に個人情報の取り扱いに関する書面を用いてご説明しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		分かりやすい説明を心掛け、視覚的ツールを用いた支援も取り入れています。特に連絡帳には使用した教材、課題の写真を貼り付け、保護者さんがイメージしやすいように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		現在、外部の方を招待して行う行事は企画、実施していません。今後ご要望を踏まえ、地域に発信できるように検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアル整備に努め、職員全員に周知しています。保護者さんにも説明し、各種マニュアルは事業所玄関にも設置し、保護者さんも確認できるようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		年間を通して防災訓練の計画をしており、地震及び火災について実施しています。すべてのお子さんが訓練に参加出来るように防災訓練週間を設けています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		保護者さんに記入して頂いているプロフィール表等を通して確認しています。服薬状況は保護者さんと確認し、様子観察をしながら活動しています。てんかんについては、対処方法をマニュアル化しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	食物やその他のアレルギーについては、調査票を用いて把握し、おやつ支援や行事等でも十分注意しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	作成した安全計画を周知し、研修や訓練等を行い安全管理に努めています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		契約時に行っているが、利用期間が長い家庭には、定期的に周知しても良いと検討しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		以前に比べると、件数が減ってきているので、職員間で再度意識して、再発防止に努めていきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	倫理要綱の読み合わせを行い、また、事業所で研修を行い対応を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				対象者はいません。	